

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録案

日時: 2020 年 9 月 9 日(水)18 時~19 時 20 分

ZOOM オンライン開催

司会: 領域 2 代表 金子、参加者 33 名、書記: 森

配布資料 領域 2 運営会議-オンライン (熊本大学) 200909_v5.pdf

報告・議論事項

- 1) 2020 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2021 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦
- 3) 第 75 回(2020 年)年次大会学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
- 5) 第 76 回(2021 年)年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 企画セッションの提案
- 7) 領域委員会報告
- 8) PlasmaML のルールについて
- 9) 講演件数の推移
- 10) 2021 年秋季大会の AAPPS-DPP 2021 との共催の可能性について
- 11) その他(懇親会)

報告・議事内容(敬称略)

- 1) 2020 年 10 月からの役員体制・役割分担

下記体制を承認した。

領域代表 金子 俊郎 (東北大学)

領域副代表 稲垣 滋 (九州大学)

領域前代表 藤田 隆明 (名古屋大学)

運営委員(小林、佐野、沼田、本島、相羽、福田)、役員(佐々木、高橋、山田)

2020 年 9 月任期終了(大舘、白石、森)

2021 年 10 月からの役員への立候補を希望される方は領域代表者まで連絡(年内)

- 2) 2021 年 4 月からの領域代表、副代表の推薦

下記体制を承認した。

次期領域代表 稲垣 滋 (九州大)

次期領域副代表 千徳 靖彦 (大阪大)

3) 第 75 回(2020 年)年次大会学生優秀発表賞報告

現地開催中止に伴い、学生優秀発表賞の授賞は実施しなかった。

4) 米沢富美子賞の募集について

領域 2 から、2 名を上限として授賞候補者を推薦することができる。

領域 2 の推薦締め切り：2020 年 10 月 16 日(金)

提出先：領域代表 金子(kaneko@tohoku.ac.jp)

積極的に候補者にお声がけし、立候補を促していくことを確認した。

5) 第 76 回(2021 年)年次大会 シンポジウム・招待講演等の提案

下記 5 件、提案者からの説明後、承認した。

企画講演 (1 件)

“Ultra-intense Laser-driven Ion Acceleration for High Energy Density Physics”

Morace・Alessio(大阪大) 提案者 森

招待講演 (2 件)

“大型ヘリカル装置における高エネルギーイオン励起不安定性による高エネルギーイオン輸送の研究” 小川国大(核融合科学研) 提案者 森崎 (代理報告 金子)

“準軸対称ヘリカル磁場配位の物理” 清水昭博(核融合科学研) 提案者 稲垣

シンポジウム (2 件) 2020 年々々年次大会現地開催中止後の進捗を踏まえた再提案

「宇宙線加速原理の導入による「光速」に迫るレーザーイオン加速への挑戦-電子の相対論からイオンの相対論へ-」提案者 福田

「プラズマを含む複合システムの創発現象 -全体は部分の和か?-」提案者 稲垣

6) 企画セッションについて

現在、「高エネルギー密度科学」が実施中である。2020 年秋季大会で終了。

新規提案を募集したが、応募なし。

7) 領域委員会報告

・2020 年秋季大会シンポ等の企画・提案について

現地開催中止の招待講演の取り扱いについて、領域 2 としては、招待講演の重みを鑑み、その重複を避け企画講演で進めることを確認した。

・講演の英語対応について

学会より、招待講演、企画講演、シンポジウム等の英語での発表の検討の依頼がなされた。

以下の方向性を確認し、懇親会等で議論を継続する。

一般講演は、基本的に日本語を進める。

招待講演、企画講演、シンポジウム等は英語を推奨し、最終判断は提案者に委ねる。

8) PlasmaML のルールについて

1. 添付ファイルについて

常識の範囲内で「1MB 以下の PDF は認める」

ウイルス、メールサーバー管理対応等について、

メールソフトでウイルスチェックしているので、

添付ファイルの送信も OK とする。

ファイルサイズがオーバーした際の自動排除設定機能は、確認する。

2. 授賞報告について

積極的に ML を活用した報告を推奨する。

物理学会以外からの授賞が対象となる。

3. 不適切な内容のメールに対する対応について

役員会で判断し、サーバーに履歴が残っている際は、領域代表の責任で

履歴を削除し、送信者に削除をリマインドする。

送信後削除の意図は、送信者へのリマインドが主である。

9) 講演件数の推移

一般講演数は 125 件。秋季大会として、3 大会ぶりに 100 件を超えた旨報告された。

10) 2021 年秋季大会の AAPPS-DPP 2021 との共催の可能性について

2020 年 3 月 31 日に、ML で前代表(藤田)より、プログラム編成の仕方が異なる等の理由のため、共催を見送る考えを送信した。

その後、5/8 の締め切りまで意見は出されなかった。

共催の見送りを決定した。協力は検討していく。

11) その他(懇親会)

11-1) コロナ禍を踏まえた今後の大会運営について

情報なし。

今回のオンライン運営経費については、会場費を削減できたもののオンライン対応経費等の別経費がかかっているため、参加費据え置きが決定された(5月の領域委員会で報告された)。予稿は参加費で閲覧可能とした。

11-2) 2020年9月任期終了役員の挨拶

白石、森、大館から、退任の挨拶がなされた。

11-3) 懇親会(オンライン)

運営会議終了後、19時30分からオンライン(Remo、定員50)で開催
飲食は各自準備

以上